



須坂市立小山小学校だより

栃の子だより

平成 27 年 2 月 4 日

No.13

文責：寺島 寿一

栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人

山本貴志 「メセナの風」 学校訪問ピアノコンサート

1月26日(月)13:35~14:40 山本貴志さんによる「メセナの風」学校訪問ピアノコンサートが、小山小学校の体育館で行われました。

インフルエンザ等の感染拡大で2クラスの子どもたちは残念ながら参加することができませんでしたが、他の子どもたちと保護者・地域のみなさんもマスク着用で山本さんの素晴らしい演奏を生で聞くことができました。



大好きなショパンについて語る山本さん。ショパンの生き方に触れて、「苦しい時、つらい時にがんばることが、役に立ったり大切なものになったりする」とメッセージを送ってくれました。

曲想に合わせて、ひとつひとつの音やリズムを大切に優しいタッチの時と、力強く迫力あるタッチの時とあり、その美しさと迫りに会場が引き込まれました。

「ノクターン 2 番」
「マズルカ」
「雨だれ」
「ワルツ第 5 番」
の全 4 曲を弾いてくださいました。



「小学校時代の練習時間」「うまく弾ける練習法」などの質問が出されました。

特に、2年生からの「ショパンの心臓」に関する質問には、山本さんも感心していました。

山本さんのピアノ伴奏による「小山小学校校歌」と「ありがとう」(作詞作曲:若松 歓)を全校で歌いました。

普段にも増してピアノの音に乗せ、子どもたちは気持ちよく歌っていました。

最後は、歌声いっぱい委員長から、お礼の言葉。

山本さんの素晴らしい演奏とお話に時間がたつのを忘れ、心地よい空間の中で過ごすことができました。

山本さんのように好きなことを一生の職業にしていくことは大変ですが、小さい頃の夢を忘れず、努力し続けていくことの大切さを教えていただきました。

この様子は、須高ケーブルテレビでも放送されます。

第 9 回 人権を考える市民のつどい 学習発表 自他のよさを認め合い、互いに尊重できるなかまづくり ～ すすんで友だちのわ(和・輪・話)を広げよう ～

1月31日(土) 13:30～ メセナホールにおいて、「第9回人権を考える市民のつどい」が行われ、今年度の人権教育の取り組みについて小山小学校児童・PTAのみなさんが学習発表を行いました。



児童会の発表では、姉妹学級レク・読書・清掃、ふれあい旬間・なかよし旬間、柗の子祭などの活動について、委員会の代表や1年生の感想などを発表しました。



PTAの発表では、各種人権講座に参加した感想や宮下英子さんのPTA人権講演会「私から始めよう～思い合う心～」で学んだことなどの発表をしました。



そして、出演者全員がステージに並び、「ともだちになるために」を、手話を交えながら歌いました。

子どもたちの澄んだ歌声や全員による手話の一体感に拍手をいただきました。

最後に出演者を代表し、友だち委員会の委員長が「私たちは、恵まれた環境のもと、姉妹学級を中心にして、様々な機会を通して交流しあい、お互いのよさを知りあうことができました。でも、まだ十分とは言えません。心を開き合い。自分から進んで話しかけ、友だちの輪をさらに広げていきたいと思えます。そうです、本当の友だちになるために…」と、締めくくりました。

ともだちになるために
作詞 新沢としひこ
たし
。著作権に配慮し、ホームページ上の掲載は見送りま

この集会での発表が人権教育のゴールではありません。「毎日が人権教育」であることを忘れずに、私たち教職員も子どもたちと共に人権感覚を磨き、人権に配慮した言動を心掛け、人権に関わる問題に適切に対応できるようにしていきたいと思えます。

< 体罰に関わる相談窓口について >

☆ 県教育委員会では、「体罰に関わる相談窓口」を設けています。下記まで、封書、電話、ファックス、メール等で相談ができますので、ご活用ください。

宛先 長野県教育委員会義務教育課 「体罰に関わる相談窓口」宛

住所 〒380-8570 長野市南長野幅下 692-2

電話 026 - 235 - 7426 (直通)

F A X 026 - 235 - 7494

E-mail taibatsu-sodan@pref.nagano.lg.jp